

萬福寺の公式ホームページをご覧ください。

馬込萬福寺

検索

<http://www.manpukuji.or.jp>

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

秋彼岸会法要

令和2年9月22日(火・祝)

お彼岸は自分の心を見つめ直す
いい機会です

密にならないよう本堂に設けられた70の席に加え、境内のテント席に檀信徒が参列するなか、午後1時から秋の彼岸会法要が営まれました。

導師を務められた安本由道ご住職は、「本日は短めの法要を心掛け、参会者の人数を絞って準備させていただきました。いま大切なことは、医療従事者、ご病気の方を偏見の目で見、差別の態度をとってはならないということです。お彼岸のこの日は、正しい気持ちをもって仏様に手を合わせ、正しい教えとはなにか見つめ直すいい機会です。人の悪口を言ったり、偏見の目で見たりしてはいけません」と諭されました。



本堂のほか境内にも席を設けて法要を営む

磨墨塚法要

令和2年10月11日(日)

「するすみ祭」は中止し磨墨塚で法要を営みました

10月11日(日)、南馬込三丁目の磨墨塚で安本由道ご住職を導師に法要が営まれました。萬福寺護持会役員、梶原殿運営スタッフ代表が参列・焼香して、地域の安全と繁栄が祈願されました。なお、毎年同時開催の「するすみ祭」(ふれあい動物園)は、密集を懸念して今年は中止といたしました。多くのお問い合わせをいただきましたが、来場者、とりわけ子供たちの安全を最優先して判断させていただきました。

INFORMATION

令和3年度 年回表

一周忌	令和2年
三回忌	平成31年、令和元年
七回忌	平成27年
十三回忌	平成21年
十七回忌	平成17年
二十三回忌	平成11年
二十七回忌	平成7年
三十三回忌	昭和64年、平成元年
五十回忌	昭和47年
百回忌	大正11年



やすらぎの写経会 2月11日(木・祝)のご案内

— 周囲の状況で開催を判断します —

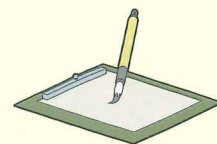
新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、今年度の写経会は6月、11月と中止させていただきました。残るは新春2月11日(木・建国記念の日)の写経会・納経諷経となりましたが、開催の決定は状況を見て判断させていただきます。近くなりましたら、寺務所までお問い合わせください。なお、これまで参加された皆様には、追ってご連絡いたします。

【開催の場合】

日時：令和3年2月11日(木・建国記念の日)
午後1時～2時30分

参加費：1,000円(用紙・筆は無料貸し出し)

※終了後、皆様がお書きになった写経を奉納する納経諷経を開催予定

御葬儀・法要の連絡は
萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要・諸行事のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

※梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。

編集後記

今年は新型コロナウイルスのせいで、大変な年となりました。家にこもりがちな日々が続く中、知人の訃報が伝わって来ました。残念なことに、コロナ感染を恐れて家族葬で済ませたとのこと。お別れる機会を失いました。

感染の広がりが心配される折、仕方がないことと思いつつも、がっかりした気分から抜けられません。弔問して焼香し、故人と共に過ごした時を懐かしみ、永遠の別れをかみしめるひとときに身を置いてはじめて、故人との別離を自らに納得することができるのではないか、ひとりの人が亡くなるということは重大なことであり、故人の世界は遺族の中だけに収まるものではないのでは、との感を勝手ながら強めた次第です。「故人を片付ける」ような葬儀もあると聞く頃、丁寧なお別れが出来るようになる日を、と望むばかりです。